

# 名古屋市立大学 SDGs活動レポート (2023年度版)

**11** 住み続けられる  
まちづくりを



## SDGs活動紹介

ホーム > SDGs活動紹介 > JST/JICA 国際科学技術共同研究推進事業(SATREPS)ブータンにおける組積造建築の地震リスク評価と減災技術の開発

全画面プリント

本文プリント

### SDGs活動紹介

## JST/JICA 国際科学技術共同研究推進事業(SATREPS)ブータンにおける組積造建築の地震リスク評価と減災技術の開発



研究の概要	<p><b>地震リスク評価・耐震化技術の開発と普及で、将来の災害に備える</b></p> <p>ブータンでは、首都をはじめとする一部の市街地で地上5階建てまでの鉄筋コンクリート建築と、2階建てまでの煉瓦建築が多くみられるほか、ほとんどの民家と公共施設が版築＊1あるいは割石＊2積みで建てられている。プロジェクトでは、ブータンにおける地震研究により得られた地震ハザード評価の結果を加味したブータンの伝統建築である組積造建築の耐震化指針と減災教育マニュアルを作成し、技術者・施工者向けの講習や住民教育を通して、地震に強い地域づくりを支援する。</p> <p>＊1 版築・・・壁となる部分に両側から板などで枠を作り、その中に建材を詰めて突き固める工法のこと。</p> <p>＊2 割石・・・石材を任意に割ったもの。</p> <p><b>ブータンの減災を実現する技術の開発で、安心安全な地域づくりに貢献</b></p> <p>実大実験に基づく耐震化指針と減災教育マニュアルの運用を、ブータンの災害管理行政に提案し普及させることで国民の防災意識の向上に貢献する。このプロジェクトで開発される技術は、従来の土や石を建築材料とした脆弱な構造の住宅が崩壊することによって発生する災害を克服するモデルとして、他の国々にも普及を目指す。</p>
国際共同研究期間	2017年4月27日から2023年4月26日まで
研究代表者	芸術工学研究科 教授 青木 孝義 内務文化省文化局 局長 ナクツォ ドルジ
関連URL	<a href="#">科学技術振興機構 地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム 研究プロジェクトWEBサイト</a>
その他	<p>2023年10月13日から10月31日には、成果報告展として、展示・体験ワークショップ「ブータンの幸せのために！」を開催しました。</p> <p>期間中には、ブータンにおける伝統建築の耐震化を支援するプロジェクトの成果である仮想現実(VR)を使用した減災教育体験も行われました。</p> <p><a href="#">展示・体験ワークショップ「ブータンの幸せのために！」</a></p>

スマートフォン表示

PC表示

桜山（川澄）キャンパス

〒467-8601  
名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1

医学部	医学研究科
看護学研究科	

[交通アクセス](#)

[キャンバスマップ](#)

滝子(山の畑)キャンパス

〒467-8501  
名古屋市瑞穂区瑞穂町字山の畑1

経済学部	経済学研究科
人文社会学部	人間文化研究科
総合生命理学部	理学研究科
データサイエンス学部	データサイエンス研究科

[交通アクセス](#)

[キャンバスマップ](#)

田辺通キャンパス

〒467-8603  
名古屋市瑞穂区田辺通3-1

薬学部	薬学研究科
交通アクセス	キャンバスマップ

[交通アクセス](#)

[キャンバスマップ](#)

北千種キャンパス

〒464-0083  
名古屋市千種区北千種2-1-10

芸術工学部	芸術工学研究科
交通アクセス	キャンバスマップ

[交通アクセス](#)

[キャンバスマップ](#)

[サイトポリシー](#) [プライバシーポリシー](#) [ウェブアクセシビリティ](#) [学内組織リンク](#) [学外関連リンク](#) [このサイトについて](#)

Copyright(C) NAGOYA CITY UNIVERSITY, All rights reserved.

## SDGs活動紹介

ホーム > SDGs活動紹介 > 人文社会学部現代社会学科・社会調査実習報告書『木曽三川における地域環境教育のあり方』の刊行

全画面プリント

本文プリント

### SDGs活動紹介

## 人文社会学部現代社会学科・社会調査実習報告書『木 曽三川における地域環境教育のあり方』の刊行



活動の概要	<p>人文社会学部現代社会学科では、毎年、社会調査実習という授業を開講しています。各担当教員の指導のもと、中京圏の様々な社会問題の現状と課題について、主にフィールドワークやインタビュー調査を中心とした社会調査を行っています。東海社会学会インターカレッジ発表会で報告をしており、調査経験とプレゼンテーションに力を入れた教育活動を行っています。この度、報告書『木曽三川における地域環境教育のあり方』を刊行しました。</p> <p>【社会調査実習の内容】</p> <p>今年度の馬渡班では木曽三川における地域環境教育の現状について、地域資料の整理・読解、現地フィールドワークや関係者への聞き取り、ボランティア活動への参加等を通して調べました。水環境と私たちの関係は切っても切り離せないものであるにもかかわらず、実際には水環境とどのように付き合っていけば良いかわからない現状があります。特に学校外の社会教育の現場で、どのような内容の環境教育が行われているのか、その実態や伝え方、教育の工夫、各団体の抱える課題等を調査しました。調査に協力いただいた各務原木曽川かわまちづくり会は、産官学民が連携したかわまちづくりの実現を目指している団体です。同会は、近隣の国立研究開発法人土木研究所自然共生研究センターの専門家と協力して、小学生とその保護者（親子）を対象とした「おさかな観察会」などのイベントを定期的で開催しています。子どもたちはイベントにおいて、専門家の助けも借りながら生き物に関する正しい知識を身につけることができます。しかし、単なる知識の習得に終わることなく、五感を通じて直接自然を感じるすることができます。このような取り組みを通して、「地域の自然環境への愛着がわき、環境保全に関心を持てるようになる」「地元の良さを認識することによって、将来のUターン就職率を高める」「Uターンの際には「地元の良さ」を発信する立場を担えるようになる」「専門家との連携によって、研究等の将来の進路選択にもつながる」ことを目指しています。また、同会が開催する「かわまちランバイク大会」へのボランティア参加を通して、水辺空間の利用によって地域が盛り上がる様子を目の当たりにし、受講者は「まちとかわのつながり」を感じることができました。このような地元住民が担う「かわまちづくり」の活動は、子どもたちに対する地域環境教育の一環として位置づけられるでしょう。</p>
活動の時期	2023年4月から2024年4月まで
担当教員	馬渡玲欧（人文社会学部現代社会学科講師／SDGsセンター員）
関連URL	<a href="#">名古屋市立大学人文社会学部現代社会学科</a> <a href="#">東海社会学会インターカレッジ発表会</a> <a href="#">人間文化研究科の馬渡玲欧講師のインタビュー記事がWebメディア『ミズテル』に掲載されました</a>



## 木曽三川における 地域環境教育のあり方

〔 2023 年度・現代社会学科社会調査実習報告書 〕

第4分冊

名古屋市立大学人文社会学部  
現代社会学科

2023年度社会調査実習報告書（馬渡班）表紙

スマートフォン表示

PC表示

### 桜山（川澄）キャンパス

〒467-8601

名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1

医学部

医学研究科

看護学研究科

交通アクセス

キャンパスマップ

### 滝子(山の畑)キャンパス

〒467-8501

名古屋市瑞穂区瑞穂町字山の畑1

経済学部

経済学研究科

人文社会学部

人間文化研究科

総合生命理学部

理学研究科

データサイエンス学部

データサイエンス研究科

交通アクセス

キャンパスマップ

### 田辺通キャンパス

〒467-8603

名古屋市瑞穂区田辺通3-1

薬学部

薬学研究科

交通アクセス

キャンパスマップ

### 北千種キャンパス

〒464-0083

名古屋市千種区北千種2-1-10

芸術工学部

芸術工学研究科

交通アクセス

キャンパスマップ

## SDGs活動紹介

ホーム > SDGs活動紹介 > 人文社会学部現代社会学科・社会調査実習報告書『水環境を中心とする市民・市民団体・行政の関わり方一庄内川・山崎川・鳥川・恵那峡を事例に一』の刊行

全画面プリント

本文プリント

SDGs活動紹介

## 人文社会学部現代社会学科・社会調査実習報告書『水環境を中心とする市民・市民団体・行政の関わり方一庄内川・山崎川・鳥川・恵那峡を事例に一』の刊行



活動の概要	<p>人文社会学部現代社会学科では、毎年、社会調査実習という授業を開講しています。各担当教員の指導のもと、中京圏の様々な社会問題の現状と課題について、社会調査を行っています（例：メディア報道、地域コミュニティ・家族、労働、都市…）。このうち、馬渡班では中京圏の水環境が誰によって、どのように守られているのか、その現状と課題を、地域資料の整理・読解、現地フィールドワークや関係者への聞き取りに基づいて調べました。</p> <p>事例としては、学生の関心に基づき、豊かな自然を持つ広域的な都市河川である庄内川、生物多様性を目指した市民活動が行われている都市河川の山崎川、ホテル保護活動で著名な鳥川、水辺を活かした観光資源を有する恵那峡を選定しました。調査の成果について、この度、報告書『水環境を中心とする市民・市民団体・行政の関わり方一庄内川・山崎川・鳥川・恵那峡を事例に一』を取りまとめました。</p> <p>近年では、持続可能なより良い水環境を目指すための連携が行政、市民団体、地域住民等の間で志向されていますが、他方で水環境は人々や社会との関わりの中で、治水・防災・生物多様性・産業など、多様な価値観や人々の活動を映し出し、せめぎ合う場であり続けていることを学生たちは認識しました。また、人々がとりわけ都市社会で生活をつくるなかで、自然環境の存在や環境との関わりが生活の背景に退いていることも改めて認識しました。特に後者の、市民の水環境に対する関心・無関心については、『市民の無関心』がどのような状態を示すのかを掘り下げながら、今年度も継続して調査していきたいと考えています。</p>
活動の時期	2022年4月から2023年4月まで
担当教員	馬渡玲欧（人文社会学部現代社会学科講師／SDGsセンター員）
関連URL	<a href="#">名古屋市立大学人文社会学部現代社会学科</a>

名古屋市立大学人文社会学部  
現代社会学科社会調査実習報告書  
2022年度 第3分冊

### 水環境を中心とする 市民・市民団体・行政の関わり方 一庄内川・山崎川・鳥川・恵那峡を事例に一

〔 2022年度・現代社会学科調査実習報告書 〕

第3分冊

名古屋市立大学人文社会学部  
現代社会学科

2022年度社会調査実習報告書（馬渡班）表紙

スマートフォン表示

PC表示

桜山（川澄）キャンパス

〒467-8601  
名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1

医学部	医学研究科
看護学研究科	

[交通アクセス](#)   [キャンパスマップ](#)

滝子(山の畑)キャンパス

〒467-8501  
名古屋市瑞穂区瑞穂町字山の畑1

経済学部	経済学研究科
人文社会学部	人間文化研究科
総合生命理学部	理学研究科
データサイエンス学部	データサイエンス研究科

[交通アクセス](#)   [キャンパスマップ](#)

田辺通キャンパス

〒467-8603  
名古屋市瑞穂区田辺通3-1

薬学部	薬学研究科
-----	-------

[交通アクセス](#)   [キャンパスマップ](#)

北千種キャンパス

〒464-0083  
名古屋市千種区北千種2-1-10

芸術工学部	芸術工学研究科
-------	---------

[交通アクセス](#)   [キャンパスマップ](#)

## SDGs活動紹介

ホーム > SDGs活動紹介 > 淡水・沿岸魚類の系統地理構造に基づくインドネシア島嶼域の生物地理区境界線の検証

全画面プリント

本文プリント

SDGs活動紹介

## 淡水・沿岸魚類の系統地理構造に基づくインドネシア島嶼域の生物地理区境界線の検証



研究開始時の研究の概要	<p>名古屋市立大学生物多様性研究センターの熊澤教授（理学研究科）が代表となって進めている本研究では、ワラセアと呼ばれる動物相の遷移帯を中心に、インドネシア島嶼域の淡水魚と汽水・沿岸魚を野外採集し、分類学的検討を行うとともに、最新の分子的アプローチを用いた系統・集団解析を行う。その結果に基づき、塩水中の分散特性が異なる魚類の種（集団）分布や系統地理構造を古環境学的背景と関連づけて理解し、生物地理区境界線との関わりを高精度に検証する。インドネシア島嶼域では、近年の環境破壊で生態系の持続性に深刻な懸念が持たれている。本研究は、生物地理学を格段に発展させるのみならず、東南アジア諸国で生物多様性の保全と生物資源の持続的利用を図るうえで必要な研究人材とそのネットワークを育てることに繋がる。</p>
研究実績の概要	<p>2022年度の前半は新型コロナウイルス感染症の影響で、日本側研究者がインドネシアを訪問して現地調査を実施することが難しかった。そこでインドネシアおよびタイの研究協力者による魚類サンプル採集を複数回実施した。インドネシアでは、2022年の6月から8月に主にスマトラ島の広範な地点で、2023年の1月から3月にジャワ島・スマトラ島などいくつかの島でサンプリングを実施した。また、3月には研究協力者のMr. Kholil（研究代表者の研究室に所属する国費留学生）がボルネオ島に行き、サンプリングを行った。大小河川の河口域や湖沼を中心に、ハゼ目のオクスデルクス科などの科を構成する約20種の淡水・汽水魚類標本を採集できた。また、スズキ目の様々な科に属する約15種を中心とした沿岸魚類の標本も収集できた。採集されたサンプルがカバーする魚種数は前年度より少ないが、これは研究対象魚を絞り込んでサンプリングを行ったためである。</p> <p>これらの標本の一部は、インドネシア政府またはタイ政府の許可を得て、研究代表者の研究室に提供され、国際共同研究体制のもとで系統分類学的研究を行なった。組織標本については、そこからDNAデータを抽出して、ミトコンドリアDNAにコードされるシトクロムオキシダーゼサブユニットI遺伝子の塩基配列を決定し、分子系統解析を実施した。ホルマリン固定された体標本については、形態学的な分析を行い、現行の分類学的情報による種同定と分子情報に基づく系統関係の対比を行った。ハゼ目オクスデルクス科やスズキ目ツバメコノシロ科などの分類群において、従来の分類学的研究では認識されていなかった新種の存在が示唆されており、それについて詳しく分子系統学的・形態学的解析を行った。</p> <p>本研究課題の国際共同研究チームのメンバー間で研究成果を共有するために、zoomを利用した科学セミナーを7月と12月に公開で実施した。</p>
研究代表	名古屋市立大学生物多様性研究センター 熊澤 慶伯（理学研究科）
研究期間	2019年度から2024年度
関連URL	<ul style="list-style-type: none"> <li>淡水・沿岸魚類の系統地理構造に基づくインドネシア島嶼域の生物地理区境界線の検証</li> <li>名古屋市立大学生物多様性研究センター</li> </ul>

スマートフォン表示

PC表示

## SDGs活動紹介

[ホーム](#) > [SDGs活動紹介](#) > [田辺通キャンパス周辺の清掃活動を実施](#)

[全画面プリント](#)

[本文プリント](#)

SDGs活動紹介

## 田辺通キャンパス周辺の清掃活動を実施



活動の概要	<p>2023年6月14日、薬学部・薬学研究科の学生と教職員が中心となり、陽明学区連絡協議会、パロマ瑞穂パーク、名古屋市緑政土木局の方と協力して、田辺通キャンパス周辺の清掃活動を行いました。</p> <p>○実施場所：田辺通り沿いグラウンド横の歩道の清掃</p> <p>○参加者：29名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学生：16名 <ul style="list-style-type: none"> <li>大学院博士前期課程2年生 2名</li> <li>薬学科6年生 5名</li> <li>薬学科4年生 7名</li> <li>生命薬科学科4年生 2名</li> </ul> </li> <li>※頭金先生の研究室（8名）、林先生の研究室（7名）、桑先生の研究室（1名）</li> <li>・教員：3名（薬学研究科 頭金先生、寺坂先生、柴田先生）</li> <li>・事務局：4名</li> <li>・瑞穂区：4名（陽明学区連絡協議会）</li> <li>・パロマ瑞穂スポーツパーク：1名</li> <li>・瑞穂土木事務所：1名</li> </ul> <p>回収した落ち葉は、ゴミとして出すのではなく、薬用植物園の肥料として使用するよう『堆肥置き場』に集めました。</p>
活動の時期	2023年6月



スマートフォン表示

PC表示

桜山（川澄）キャンパス  
〒467-8601  
名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1

滝子（山の畑）キャンパス  
〒467-8603  
名古屋市瑞穂区瑞穂町字山の畑1

田辺通キャンパス  
〒467-8603  
名古屋市瑞穂区田辺通3-1

北千種キャンパス  
〒464-0083  
名古屋市千種区北千種2-1-10

医学部	医学研究科	経済学部	経済学研究科	薬学部	薬学研究科	芸術工学部	芸術工学研究科
看護学研究科		人文社会学部	人間文化研究科	交通アクセス	キャンパスマップ	交通アクセス	キャンパスマップ
交通アクセス	キャンパスマップ	総合生命理学部	理学研究科				
		データサイエンス学部	データサイエンス研究科				
		交通アクセス	キャンパスマップ				

## SDGs活動紹介

ホーム > SDGs活動紹介 > 環境デーなごや2023パートナーシップ事業として地域美化活動を実施

全画面プリント

本文プリント

SDGs活動紹介

## 環境デーなごや2023パートナーシップ事業として地域美化活動を実施



活動の概要	環境デーなごや2023パートナーシップ事業の一環として、2023年6月9日金曜日に桜山（川澄）キャンパス周辺の地域美化活動を行いました。 当日は、SDGsセンターの林センター長を含む教職員と学生合わせて12名が参加し、桜山（川澄）キャンパス周辺の清掃を行いました。
活動の時期	2023年6月
関連URL	<a href="#">環境デーなごや地域行事Webサイト</a>



スマートフォン表示

PC表示

### 桜山（川澄）キャンパス

〒467-8601  
名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1

医学部	医学研究科
看護学研究科	

[交通アクセス](#)

[キャンパスマップ](#)

### 滝子(山の畑)キャンパス

〒467-8501  
名古屋市瑞穂区瑞穂町字山の畑1

経済学部	経済学研究科
人文社会学部	人間文化研究科
総合生命理学部	理学研究科
データサイエンス学部	データサイエンス研究科

[交通アクセス](#)

[キャンパスマップ](#)

### 田辺通キャンパス

〒467-8603  
名古屋市瑞穂区田辺通3-1

薬学部	薬学研究科
-----	-------

[交通アクセス](#)

[キャンパスマップ](#)

### 北千種キャンパス

〒464-0083  
名古屋市千種区北千種2-1-10

芸術工学部	芸術工学研究科
-------	---------

[交通アクセス](#)

[キャンパスマップ](#)

## SDGs活動紹介

[ホーム](#) > [SDGs活動紹介](#) > [名古屋市交通局との包括連携協定締結を記念したシンポジウムを開催しました](#)

[全画面プリント](#)

[本文プリント](#)

SDGs活動紹介

## 名古屋市交通局との包括連携協定締結を記念したシンポジウムを開催しました



活動の概要	<p>2023年3月17日（金曜日）に名古屋市交通局と本学との間で包括連携協定を締結し、それを記念したシンポジウム「はじめよう！はつらつ生活といきいき街づくり～生涯健康のための公共交通の活用術～」を8月10日（木曜日）に開催しました。</p> <p>本学医学研究科赤津教授をはじめ、名古屋市交通局、国立長寿医療研究センター、中日新聞記者の方に登壇いただき、「公共交通を積極的に活用した外出の魅力」、「高齢者の介護予防・心身の健康増進」をテーマにした講演やパネルディスカッションを行いました。当日は市民、行政、大学関係者など約200名が参加し、盛況のうちに幕を閉じました。</p> <p>※本件は本学広報誌『<a href="#">創新</a>』Vol.49（2023年9月発行）に掲載されました。</p>
活動の時期	2023年8月
関連URL	<a href="#">本学広報誌『創新』Vol.49</a>

スマートフォン表示

PC表示

桜山（川澄）キャンパス

〒467-8601

名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1

医学部	医学研究科
看護学研究科	
<a href="#">交通アクセス</a>	<a href="#">キャンパスマップ</a>

滝子(山の畑)キャンパス

〒467-8501

名古屋市瑞穂区瑞穂町字山の畑1

経済学部	経済学研究科
人文社会学部	人間文化研究科
総合生命理学部	理学研究科
データサイエンス学部	データサイエンス研究科
<a href="#">交通アクセス</a>	<a href="#">キャンパスマップ</a>

田辺通キャンパス

〒467-8603

名古屋市瑞穂区田辺通3-1

薬学部	薬学研究科
<a href="#">交通アクセス</a>	<a href="#">キャンパスマップ</a>

北千種キャンパス

〒464-0083

名古屋市千種区北千種2-1-10

芸術工学部	芸術工学研究科
<a href="#">交通アクセス</a>	<a href="#">キャンパスマップ</a>



## SDGs活動紹介

[ホーム](#) > [SDGs活動紹介](#) > [NCUサステナビリティ・ワークショップ2023を開催](#)

[全画面プリント](#)

[本文プリント](#)

SDGs活動紹介

## NCUサステナビリティ・ワークショップ2023を開催



活動の概要	<p>2023年11月4日（土曜日）にNCUサステナビリティ・シンポジウム2023「住から考える持続可能な都市 名古屋」（名古屋市立大学人文社会学部心理教育学科曾我幸代研究室主催、名古屋市・名古屋市教育委員会・名古屋市立大学SDGsセンター後援）を開催しました。</p> <p>住というと、住宅や建築、まちづくりという印象を受けるかもしれませんが、それには経済や社会システム、自然のバイオリズムが深く関わっています。住は、私たちの生活そのものです。これまでにテーマに掲げた食や防災は、SDGsのゴールにもある貧困や飢餓、健康、エネルギー、気候変動、生物多様性にも深く関わっていました。住も同様に、複合的かつ分野横断的なテーマであり、それはSDGsを包括的に捉え、各ゴールやターゲットにあげられていない状況にも目を向けさせます。「住」をどの切り口からみるのかによって、その現れ方は異なり、またそれは文化による差異にもつながります。</p> <p>そこで、今回はさまざまなことに関連する「住」を通して、自らの暮らしや営みをふり振り返り、どのような持続不可能な状況を生み出しているのか、またいかに持続可能なあり方にシフトできるのかを考える機会としたと思います。これまでの開発がこうした差異に目を向けずに一様に繰り返されてきたのだとすれば、私たちの住環境に現れる多様性は失われていきます。私たちがどのような社会を求め、どのような開発のあり方を望むのかを考え、それを実行に移していく必要があることを改めて共有することの大切さを再確認できる機会となりました。それは、SDGs未来都市という看板を掲げる名古屋という都市社会において、社会的公正や環境保全に配慮した開発のあり様がなされているのかを自らの足元から考える契機とも言えるかもしれません。</p> <p>そこで本ワークショップでは住とSDGsを掛け合わせ、不確実性の高い時代に生きる私たちにとってすべきことは何かを考えました。子ども・若者の視点から、何が問題で、それらにどのように取り組むことが求められるのかを考え、発表しました。その上で、SDGsのアイコンを街中でよく見掛けるようになった昨今のSDGs未来都市としての名古屋のあり様を考え、参加者全員で自らの足元から考えました。</p>
開催日時・場所	<p>2023年11月4日（土曜日）午後1時30分から午後3時30分まで 名古屋市立大学滝子キャンパス1号館2階201教室他</p>
スケジュール	<p>午後1時30分から午後1時40分まで 開会の挨拶・趣旨説明 午後1時40分から午後1時45分まで ワークショップの説明・各会場へ移動 午後1時45分から午後2時40分まで 高校生・大学生協働ワークショップ 午後2時40分から午後3時20分まで 全体会 午後3時20分から午後3時30分まで 閉会の挨拶（SDGsセンター長 薬学研究科教授 林秀敏）</p>
参加校・ゼミ	<p>高校生：名古屋市立北高等学校 名古屋市立名東高等学校 名古屋経済大学市邨高等学校 大学生：名古屋市立大学看護学部地域保健看護学ゼミ 名古屋市立大学人文社会学部心理教育学科曾我ゼミ</p>
参加者の声	<p>【高校生】自分は防災についての学びを発表したが、他のテーマに関するのだとしても、全部の共通点としてコミュニティの繋がりが挙げられて、うまくコミュニティ資源の活動をすることで、コミュニティの繋がりが強くなると感じました。また、他のグループの意見を聞いて、コミュニティの繋がりが強まっていく中でうまれる価値観の違いがあるが、それは合わせる必要がなく、互いに尊重していくのが良いと思いました。</p> <p>【高校生】他校の子が何を学んでいるのか、どんな活動をしているのかを知る良い機会になった。「人とのつながり・関わり」をテーマにしているグループが多かったが、こういうワークショップに参加し、校外でのコミュニティを作ること大切だと思った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・価値観は違うから、様々な価値観にふれ合ってみる。</li> <li>・オンラインイベントばかり参加したり企画したりしているので、オフラインのイベントを企画して地域での交流を作るのは楽しそう。</li> <li>・私は人、地球は人中心ではない（もっと視点を広げて考えないかん）。</li> </ul> <p>【高校生】自分の高校だけでも他の子の意見や感想に対して“発見”や“気付き”があったけど、他の高校や年の違う人達の違う視点からの意見や考えを聞いて新しい発見がたくさんありました。普段の高校生生活では、同じ学校同士での意見交換の場はたくさんあるけど、違う学校の人達と話をしたりする機会はあまりないので、楽しかったです。</p>

【高校生】今回、他の学生が半年～一年間かけてやったこと、学んだことを聞いて、例えば、“防災”や“看護”、“食”など問題点を見た時に、それができるために、“人と人で協力”しないとできないことに気づき、人をもっと大事にしようと思いました。もっと子どもや高齢者を大切にしているような町づくりをしたいです。

【高校生】「住」というテーマにすると、その結論もバラバラになると思っていた。けれど、皆たどりつくところは同じで、その過程はグループごとに様々だった。自分と同じ考えや違う考えもあり、とても興味深かった。

【大学生】「人とのつながり」を問題点としているグループが多く、誰もが問題意識をもっている一方で、つながりが希薄化している現状があり、行動に結びつけることが難しい問題なのだろうかと思いました。

【大学生】所属する学部や学科によって、同じ住であってもその見方は様々であり、非常に興味深かった。防災や食、地域環境やその土地に住む人々など、住には様々な要素が存在しているが、その根底に在るのは、その地域に暮らす人々であり、人々がつながって、協力し、コミュニティを築きあげること、これらの問題にアプローチ、解決していけるのだということを学んだ。とても良い経験をする事ができました。

【大学生】色々な学校の方の学びが聞けて良かったです。改めて自分の周りの住環境についてや、将来の環境について考え、持続可能性、この先も住み続けていくことが出来る住を考えるきっかけになりました。今後も色々な人が自分のこととして、住環境を考えていくことが出来ると良いコミュニティになっていくのかなと思いました。

【大学生】発表を聞いたり、話し合いをしたりして、人とのつながりとそれをつくるためのイベントが大切だと感じました。今の社会は「個」を尊重していて、それが影響して人とのつながりがうすれていると分かりました。挨拶など気軽にできることから始めて、サロンや町内のお祭り、ワークショップなどのイベントへの参加につながると分かりました。子どもから高齢者まで幅広い世代が参加し関わり合えることが大切で、みんなが楽しめることも重要だと強く感じました。

【大学生】高校生たちの取り組みや課題意識を聞いて、大学生である自分も本当に勉強になりました。人間中心の暮らしではなく、“地球中心”の視点による暮らしづくりの必要性を強く感じました。

サステナビリティワークショップ（チラシ）（PDF ファイル 1.74MB）



グループ発表の様子



グループワークの様子



参加した高校生と大学生の集合写真

スマートフォン表示

PC表示

桜山（川澄）キャンパス  
〒467-8601  
名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1

医学部	医学研究科
看護学研究科	

滝子（山の畑）キャンパス  
〒467-8501  
名古屋市瑞穂区瑞穂町字山の畑1

経済学部	経済学研究科
人文社会学部	人間文化研究科

田辺通キャンパス  
〒467-0083  
名古屋市瑞穂区田辺通3-1

薬学部	薬学研究科
交通アクセス	キャンパスマップ

北千種キャンパス  
〒464-0083  
名古屋市千種区北千種2-1-10

芸術工学部	芸術工学研究科
交通アクセス	キャンパスマップ

[交通アクセス](#)

[キャンパスマップ](#)

総合生命理学部	理学研究科
データサイエンス学部	データサイエンス研究科

[交通アクセス](#)

[キャンパスマップ](#)

## SDGs活動紹介

ホーム > SDGs活動紹介 > 生物多様性に関するシンポジウムを名古屋市と共催しました

全画面プリント

本文プリント

### SDGs活動紹介

## 生物多様性に関するシンポジウムを名古屋市と共催しました



2024年3月24日（日曜日）、本学の理学研究科附属生物多様性研究センターは、名古屋市環境局なごや生物多様性センターと「なごや生物多様性シンポジウム2024～みんなでつなごう生物多様性の未来～」を共催しました。

会場となった田辺通キャンパス宮田専治記念ホールには当日、12校の高校・大学からの約100名の参加者を含めて200名以上が来場し、大盛況でした。普段なかなか接点がない専門家・研究者と高校生・大学生が交流する良い機会となりました。

#### ○当日の内容

第一部：生物多様性調査の専門家によるなごやの希少種報告

第二部：高校生・大学生が日頃の活動成果を発表するポスターセッション

第三部：名古屋市大の研究者による生物多様性・SDGs研究報告

### なごや生物多様性シンポジウム2024（名市...



（第三部：名古屋市大の研究者による生物多様性・SDGs研究報告より）

講演者：尾崎 康彦（看護学研究科 教授／医学部附属西部医療センター前副病院長）

演 題：アニマルウェルフェアを目指した大型類人猿の診療ネットワークの構築  
ー動物とヒトとの共存のために私たちにできることー

※本動画には、大型類人猿の不妊に対する医療行為及び関連する解説の中で生殖器、精液採取等に関する映像が含まれます。

スマートフォン表示

PC表示

名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1

医学部	医学研究科
看護学研究科	
交通アクセス	キャンバスマップ

名古屋市瑞穂区瑞穂町字山の畑1

経済学部	経済学研究科
人文社会学部	人間文化研究科
総合生命理学部	理学研究科
データサイエンス学部	データサイエンス研究科
交通アクセス	キャンバスマップ

名古屋市瑞穂区田辺通3-1

薬学部	薬学研究科
交通アクセス	キャンバスマップ

名古屋市千種区北千種2-1-10

芸術工学部	芸術工学研究科
交通アクセス	キャンバスマップ